



ふじ美が原

富士見中学校
平成23年4月6日

平成二十三年度
入学式

入学式

「そつと」 寄り添える人へ

学校長式辞

百四十一名の新入生の皆さん、富士見中学校への入学おめでとうございます。皆さんは、今日から富士見中学校の一員として、二、三年生二百八十六名と共に、開校二年目の富士見中学校の校風、伝統を創りあげていく皆さんでありま。皆さんの入学を心から歓迎いたします。

本日ここに、大変お忙しいところ、多数のご来賓、町関係、PTA、保護者の皆様のご臨席をいただき、新入生の入学をお祝いくださり、心から感謝、御礼申し上げます。ありがとうございます。

新入生の皆さん。いよいよ中学生です。新しい制服に身をまとい、整然と真っ直ぐに前を向いて入場する姿を見て大変うれしく、また、たのもしく思いました。この姿は、この式場に参列していただいています皆様に対して、「中学生として、目標を持って、しっかりと頑張ります」という誓いの姿の表れではなかったかと思えます。この誓いを胸に富士見中学校の生徒としての自覚をもって一日も早く学校生活になれ、勉強に諸活動に頑張つて欲しいと思います。

さて、私は、皆さんに、入学のお祝いとして、ひとつの漢字を贈りたいと思います。

「憂い」という漢字があります。「心配」「悲しみ」「苦しみ」「心をいためる」「悪い結果になりはしないかと心配する」といった意味をもっている漢字です。

この、「憂い」という漢字に、「人」という漢字が寄り添うと、「優しい」という漢字(文字)になります。贈る漢字は、この「優しい」という漢字です。

人は皆、誰でも、優しい人が好きです。優しい家族が好きです。優しい先生が好きです。優しい友達が好きです。そして、自分もまた優しい人になりたいと思つています。先に示した「憂い」という文字は、「優しい」ということがどういうことなのか、わかりやすく表してくれていると思います。

人が生きていくことは決して楽しいことばかりではありません。中学校生活三年間も同じです。皆さん一人一人にも、皆さんの友達にも、皆さんの家族にも、悲しいことや辛いこと、心配なこと不安なことなどがきつと生まれてくるに違いありません。「憂い」という漢字(文字)はそのことを表しています。

しかし、この「憂い」に寄り添ってくれる「人」の存在に、私たちは優しさを感じ、心が温かくなるのです。時には、その優しさに涙し、言葉にならない感動を覚えることさえあります。

優しさは私たちのあこがれです。優しさの実践は、私たちの目標です。人として本当に優れた人、本当に優しい人、悲しくて辛い思いをしている人、そつと寄り添える人になるために、精一杯学んで欲しいと思います。



私たちには、それぞれ弱い所もあれば、甘いところもあります。しかし、これくらいの事に負けてはいけないという思いを胸にしつかりともち、自らを励まし、自らの道を自らの手で切り開いていって欲しいと思います。

継続は力なりです。どんな小さなことでも、続けて努力すれば、積もれば山となります。この努力には、忍耐も必要になります。しかし、努力のあとには、冬が去つて春がきます。嵐のあとには青空があります。

多くの願いと期待の中ですが、皆さんの富士見中学校での生活が、皆さん自身にとつて、心ゆく豊かなものにして欲しいと思います。

保護者の皆様、本日は誠におめでとうござい。これからの三年間は、体の急激な成長と共に心も揺れ動く、多感な時期を迎えます。六年前、お子さまが、小学校に入学した時とは、違つた期待とご心配のお気持ちでえられることと思ひます。

私も富士見中学校職員四十五名は、お預かりをいたしましたお子さま一人一人の心を耕し、お子さまが活躍できる土壌や雰囲気醸成して、お子さまの中学校生活が、豊かで充実したものとなるよう励んでまいりますので、お気づきになられたこと、ご心配なことなど、遠慮なくご相談いただけますようお願いいたします。

以上で学校長の式辞といたします。ありがとうございました。



学年代表意見発表

「今年度の抱負」

新田 克明君

僕が今年度ががんばっていききたいことは、三つあります。

一つ目は、部活です。一年生から二年生に進級し、先輩という立場になります。今まではただ教えてもらっているだけでしたが、今度は先輩に教えて、さらに自分もがんばっていかなければいけません。自分が先輩方から教わったことを僕は、後輩にうまく伝えながら、自分ももっと向上していくような先輩になっていきたいです。

二つ目は、学習です。昨年度、僕は授業に集中して受けることができず、その時間の学習が頭に入らず授業が終わってしまい、後で困りました。そのせいで、テスト勉強や復習をしても数学や理科の計算式がまったく分からなくて困りました。同じ失敗を繰り返さないよう、今年度は授業に集中して受けて、ノートをきちんととり、テスト勉強や復習の時、困らないように学習の取り組み方を直していきたくです。

三つ目は、日常生活の徹底です。勉

強や部活で何かを変えるためには、まず、日常生活から変えていかなければいけないと思います。そのために、今年度は提出物の期限を守ったり、名札などを付けたり、このような当たり前のことを当たり前に行っていけば、勉強や部活もうまくいくと思います。

昨年できていたことは続けてやっていき、できなかったことはきちんとできるようにする努力をしていきたいです。

この三つを重点に置き、今年度ががんばっていききたいと思います。

「私の目標とするもの」

雨宮 咲輝さん

中学校最終学年を迎え、私の目標とするものは、四つあります。

まず一つ目は、今年度私たちは三年になり、受験があります。なので、提出物はきちんと出す、しっかりと授業を受けるなど、出来そうであればなってしまう当たり前なことをきちんととして過ごしたいと思います。そして、テストの回数も増えるので、いつでも対応できるようにテスト勉強は、今まで以上にまじめに取り組み、内容の濃い学習をしたいです。

二つ目は、最高学年として手本となる姿を見せたいということです。昨年度卒業した先輩方は、私たちにすばらしい姿を見せてくれました。第一回の白

鈴祭、合唱祭など、たくさん姿を残していつてくれました。なので、最高学年として、先輩に「先輩方みたいになりたい。」と思ってもらえるような姿を見せたいと思います。

そして三つ目は、仲間という時を大切にすることです。最高学年としてこの富士見中学校にいられるのも、この仲間といられることも最後になつてしまふ年であるからこそ、今まで分からなかったお互いの良いところなどを見つけ、絆を深めていきたいです。四月七日から九日にある修学旅行もたくさん思い出ができるように楽しんでいきたいです。

最後の四つ目は、吹奏楽部の部長として部員をしっかりと支えていきたいです。日々の練習を一生懸命やり、夏の大会では目標の県大会に行けるように個人の技術を磨き、部をまとめていきたいです。

以上、この四つの目標は、達成するのが難しいかと思いますが、常に初心に戻り、感謝の気持ちを忘れずにがんばって達成していきたいです。今、私たちがこうして日々の生活を豊かに送っている反面、被災者の方々は、大変苦労していると思います。なので、今できることから一歩一歩やり、こうして生きていること、一日一日に感謝して生活していきたいです。

入学式当日の写真から



廊下ですれ違う一年生のまだまだ緊張した表情が新鮮な思いにさせてくれています。昨日(5日)は、「生徒会入会式」が行われ、生徒会の一員にもなりました。一歩一歩、中学校生活に慣れていくんですね。

富士見町立富士見中学校
諏訪郡富士見町富士見 4654 番地
TEL 0266-62-2009
FAX 0266-62-7409
伊藤十三雄